2020年(令和2年)5月23日発行



JAC-Tochigi 2020年5月

栃木支部報

目次

- 1 支部報の発行に寄せて -2020年-
- p 2-3 追悼:日下田名誉会員,小島永年会員
- p 4-5 共益事業:第35回全国支部懇談会
- p 6-7 公益事業:「親子登山教室」,「山の講演会」
- p 8-10 支部山行・行事の記録,ユース栃木:登山技術勉強会
- p 11-12 支部・マスターズ・ユース栃木年度記録/支部年度計画

第13号

支部報の発行に寄せて -2020年-

日本山岳会会員である皇太子殿下(会員番号 10001番)が新天皇に即位された2020年5月1日に 令和元年が始まった。この記念すべき年の12月7 日、恒例の日本山岳会年次晩餐会は京王プラザホテ ルに天皇陛下をお迎えして開催された。陛下は、山 岳写真や山岳会の活動展示をご覧の後に晩餐会のメ インテーブルである「富士山」のお席にご着席され た。テーブルマスターは古野淳会長で同席者は他7 名、私もその一人であった。私が同席した理由は、 陛下に日本山岳会 120 周年記念事業のエクアドルと の友好登山の報告をすることであった。古野会長の 巧みなテーブルマスターぶりで同席者がそれぞれの 分野の話題を提供しあって楽しいひと時を過ごし た。ご即位後の公務ご多忙の中、ご臨席をいただい たことに正直驚かれされたが、山岳会の活動にご関 心をいただき大変ありがたかった。

令和の年の本支部最大の行事は、第35回全国支部懇談会を奥日光で開催したことである。5月25日から26日にかけて、全国の支部から総勢155名の参加者が集い、天候にも恵まれ盛会の下に実施できた。このように成功裏に開催できたのは、ひとえに支部会員それぞれの渾身の努力と団結の賜物と感謝したい。

令和2年の新しい年を迎えて、悲しく寂しい出来事が続いた。1月18日、本支部顧問で初代支部長の日下田實氏(享年89歳)が逝去された。その悲しみも癒えない2月12日には本支部役員の小島守夫氏(享年79歳)が自宅療養中に逝去された。お二人の巨匠が逝ってしまい、寂しい限りである。本支部報内でお二人を追悼したい。

栃木支部長

渡邉 雄二

新型コロナウィルス感染問題で、本年2月から 国内は大混乱を呈している。政府が4月16日に特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を全国に発出 し、その状況が5月31日まで継続することになっ た。感染防止のために外出の自粛が要請されている ため、「登山」どころではない。山岳団体は「登山 自粛宣言」を出して感染拡大防止に努めている。

令和2年の新年度を迎え、山岳会としてのクラブライフ充実に取り組もうとしているこの時期に出鼻を挫かれる出来事である。本支部でも、予定した春山山行の中止、支部総会を書面による総会に変更、当分の間の行事の中止などの対応をすることにした。残念な状況になっているが、新型コロナウィルス問題が一日でも早く終息することを祈念し、この時期を支部活動を充実させるべく充電期間と捉えてこの難局を乗り越えたい。

(令和2年5月記)



全国支部懇談会 栃木支部スタッフ

追悼

日下田 實 名誉会員

日下田實 初代栃木支部長を偲んで

坂口 三郎

日下田實初代支部長(会員番号 4146)は、令和 2 年 1 月 18 日逝去された。享年 89歳。謹んで哀悼の意 を表し、ご冥福をお祈り致します。

日下田さんは、1930年6月27日、益子町に生ま れ、旧制真岡中学から真岡高校を経て48年早稲田大 学専門部入学、54年早稲田大学第一政経学部を卒業し た。在学中山岳部に所属し、剱や穂高岳などの積雪期 登山を成功させるなど当時の学生登山界をリードする 登山家として活躍し、主将を務めた。53年1月南米ア コンカグア登山隊(関根隊長以下6名)に参加し、全 員登頂した。54年第2次日本山岳会マナスル登山隊に 参加、続く第3次隊(槇有恒隊長)にも参加、5月9 日今西寿雄氏とガルチェン・ノルブが、5月11日日下 田隊員と加藤喜一郎氏が共に8163mの頂上に立った。 12 名中最年少隊員であった。第2次大戦後、ネパール ヒマラヤが開放され、世界の8000m峰14座の登頂が 争われる形となり、ヒマラヤオリンピックと言われ た。50年のフランス隊のアンナプルナに初まり、53 年のイギリスのエベレスト、ドイツのナンガパルバッ トと続き、八番目が日本隊のマナスル登頂であり、歴 史的快挙であった。

日下田隊員が里帰りした5月下旬、山岳関係者が 栃木県庁正門に出迎え、登山報告をした後、オープン カー (ダッチ製、那須御用邸の警備の車) に乗り宇都 宮から母校真岡高校 (講堂で登頂報告) さらに益子の



(前列、リボンをつけているのが故日下田實名誉会員、 右端が坂口三郎会員)

《栃木支部10周年記念誌 会員紹介より》

私は多分昭和28年に日本山岳会に入会したと思っております。

入会しても当時は大学を卒業して間もない頃で、日本山岳会のことよりも現役の学生の面倒をみていることが殆どで、山岳会のことは何もしていない状況でした。当時は日本山岳会の学生部に属しており、今は亡くなられた日大OBの金坂一郎さんにお世話になっておりました。



栃木県岳連との関わりあいは、マナスルから帰国して7月頃だと思いますが、現在もお元気でおられる坂口三郎さんが家へお出でになり、栃木県岳連で那須へ行くので一緒に行かないかと誘われて同行したのがはじまりだと思います。しかしその当時、大学で体育が正課になり、各運動部がその授業を受け持つようになり、私も山岳担当の非常勤講師ということで上京することが多く、栃木県岳連とは殆ど関わりを持たない状況でした。

現在の渡邉支部長になって日光白根山へ同行し、再び栃木県の山岳関係者との関わりを持つようになり、支部長にまつりあげられ、支部の皆さまのお世話になり、現在に至っている次第です。現在殆ど山登りはしておりません。デスククライマーに徹しております。しかし学生時代から山登りをやっていたおかげで、現在も歩くことはあまり苦になりませんが、平らなところを歩くようにしております。ゴルフもやっておりますが、上りのコースは苦手ですが、上りがあれば下りもありますし、何とかワンラウンドくらいはカートの世話にならなくても出来るようです。

これからもなるべく歩くようにしていきたい と思います。年齢が年齢なので山登りは無理です が、できるだけ歩くよう心掛けていきたいと思っ ております。

(2016年)

自宅までパレードをし、沿道の祝福を受けたのであった。これはマナスル登山隊が毎日新聞社の後援行事であったので段取りは新聞社がやり、派手に宣伝したものであった。翌57年2月、栃木県山岳連盟恒例の冬山講習会に日下田隊員と山野井武夫氏を講師に招き、那須で登山技術の講習をやった。大丸温泉をB.C.とし70~80名が参加、大半がテント泊、大いに盛り上がったのであった。

マナスル登頂後、毎日新聞社の運動部記者となり活躍した。1960年から早稲田大学体育局講師として、また山岳部の監督として後進の指導に当たった。その後、益子に戻り、益子町教育委員会委員長、栃木県教育委員会委員長、民事調停委員、栃木県民芸協会など多くの役職に従事し郷土の発展振興に貢献した。それらの功績に対し、叙勲の栄に浴している。

日本山岳会にあっては、理事や評議員を歴任し、名誉会員に推挙された。2006年12月、マナスル登頂50周年に当たり、ネパール山岳協会に招かれて名誉顕彰を受けた。2010年3月、早稲田大学では、卓越した登山活動によって戦後の日本人に勇気を与えるとともに山岳界に育成に尽力し特筆すべき貢献をしたとして、早稲田大学スポーツ功労者として表彰した。2016年8月11日「山の日」が制定されたが、日光市において日本人初のマナスル登頂者として栃木県知事から顕彰されたのは記憶に新しい。

人格円満、まことの紳士であった日下田さん安ら かにお休みください。

(令和2年5月記)

小島 守夫 永年会員

石澤 好文

追悼;小島守夫(1940.3.14~2020.2.12 享年79) 小島氏の日本山岳会入会は1966年で、加藤泰 安、黒崎邦夫両氏の紹介で入会された。会員番号 は6189です。

日本山岳会栃木支部 は、2007年5月設立さ れました。支部創立の 機運が高まる中、県内 在住の日本山岳会会員 に呼びかけ、設立に向 け2007年1月に初代支 部長日下田實氏を発起 人代表として10数人の 有志が集まり設立に向

有志が集まり設立に向 けた会合を持ちました。当時栃木県山岳連盟会長で あった小島氏にも発起人として設立に多大なるご尽 力を頂きました。

設立後は、支部会委員、山行管理担当委員として、豊富な登山経験をもとに支部活動に貢献頂きました。特にマスターズクラブの山行には適切な助言、指導を頂くと共に山行に同行して頂き安全登山を実践することができました。

他にも本支部の各種事業に参加いただき、特に 事業後の懇親会には、お酒を飲まないのにも関わら ず毎回参加され、楽しい中にも思慮に富んだ山の話 をお聞きすることができ有意義な時間を過ごすこと ができました。

小島氏は2019年11月に開催された栃木県スポーツ振興課主催の講習会に参加され、開会直前に倒れ入院されました。2017年、2018年と大手術をされ入院生活をされましたが、退院すると古賀志山や里山にリハビリと称して積極的に登山をしたり茨城国体に観戦したりしておりました。その驚異的な回復力には驚かされました。今回もすぐに復帰されると思っていただけに残念でなりません。

宮城県石巻出身の小島氏は宇都宮大学に入学以来栃木県人として大学在学中は山岳部に所属し、卒業後栃木県庁に入庁されました。1967年には栃木県山岳連盟 20周年記念事業として南米アンデスの親善登山に参加しキムサクルス山群の4峰に初登頂されました。その後栃木県山岳連盟理事長、副会長、会長を歴任されました。また栃木県山岳遭難防止対策協議会会長として、栃木県の『山のグレーディング』の作成にご尽力されました。また、その幅広い人脈を活かし他にも多方面で活躍されておりHAJ、HAT-J、JAMC(日本山岳文化学会)会員とし活動されておりましたが、これらの活動については割愛させていただきます。

1月22日に開催された「山」の講演会に出席され、懇親会まで参加され元気な姿を拝見したのが最後になってしまいました。まさかこんなにも早くお別れしなければならないとは思ってもみなかっただけに残念でなりません。どうぞ安らかにお眠りください(合掌)。



(令和2年5月記)

第35回全国支部懇談会 奥日光・光徳

ようこそ 新緑の奥日光へ

全国の会員との交流を通じて友情を深め、日本山岳会の活性化と発展を図る。

【開催日】 令和元年(2019年)5月25日(土)~26日(日)

【開催地】 受付·講演会場 日光自然博物館

宿泊・懇親会場 奥日光 光徳温泉「日光アストリアホテル」

一日目は講演と懇親会、二日目は刈込湖・切込湖ハイキングや大使館別荘記念公園見学などを実施した。懇談会参加者は27支部と本部・二火会で合計155名。他に栃木支部会員5名が受付・講演会と登山に支援参加した。

[開会式・講演会](仙石:記)

第35回全国支部懇談会は、5月25日日光自然 博物館を会場として、開会された。

開会式は、最初に主催者挨拶として渡邉支部長から歓迎のあいさつが述べられた。続いて、日光市長大島一生様から歓迎の言葉と共に日光紹介のご挨拶をいただき、次に会場の日光自然博物館から営業部長 青木様から歓迎のご挨拶、中禅寺湖からの景色、付近の山の説明などの紹介をいただいた。



開会式 (大嶋市長ご挨拶)

開会式に続く記念講演は、「近代登山とアーネスト・サトウ父子の日光への山旅」を演題に飯野達央講師により行われた。



記念講演

講演では、飯野講師の調査した資料の中から、幕末から明治初期の日本でのサトウの足跡や近代登山黎明期の日光との関わりなどが紹介された。特にサトウの日光への思い入れ、中禅寺湖畔の山荘(現英国大使館別荘記念公園)、二男武田久吉(日本山岳会設立時メンバーで第7代会長)との生活など、興味深い内容であった。講演は途中の休憩もなく90分間にわたって行われたが、詳細な資料に基づいた説明に、改めて明治初期の近代登山黎明期の日光の果した役割などを再認識した。

[**懇親会・二次会**](石澤:記)

日光自然博物館での開会式、記念講演終了後本日の宿泊所である日光アストリアホテルに移動する。

懇親会を18時30分より「モンテローザ」を会場に開会。初めに本支部坂口顧問より主催者を代表して、歓迎の挨拶をする。その後、来賓を代表して日本山岳会小林会長より挨拶と、重廣副会長の乾杯で宴会が開始される。



懇親会

各支部より沢山差し入れ頂いた地元の銘酒を飲み 比べながら歓談する。久しぶりに再会した方、初めて お会いする方も打ち解け山の話等に盛り上がる。

その後、20時30分より会場を隣の「華厳」に移し、二次会が開催される。100名を超える方に参加していただき、八つのテーブルを囲み四方山話に花を

咲かせ時間が過ぎるのを忘れて歓談する。明日の登山 のことを考え 21 時 30 分に閉会した。

[刈込湖・切込湖ハイキング] (仲畠:記)

参加者 1班 47名 2班 41名 コースタイム (1班)

登山開始 8時15分 ~ ホテル 13時07分 コースタイム (2班)

登山開始 8時46分 \sim ホテル 13時40分以下、1班の記録

7時~ 朝食

7時55分 全員集合し、ホテルを出発

8時05分 元金精有料道路料金所でバス降車、 記念写真撮影し、登山口へ移動

8時15分 1班は登山を開始する。2週間前の下見では、雪が $10\sim50$ cmくらい登山道を覆っていたが、先日の大雨と気温上昇によりすっかり無くなっている。小峠まで、緩やかな登り。

8時55分 小峠

9時15分 刈込湖湖畔へ下り始め。1730mから、刈込湖1617mまで降りる。原生林の中、岩場に階段が整備されている道である。小鳥のさえずりに耳をすます。

9時25分 刈込湖到着。三岳の噴火で溶岩流が 沢をせき止めてできたせき止め湖。水深15m長径約 600m、エメラルドグリーンの湖面と、三岳や於呂俱 羅山に囲まれた静寂な雰囲気は、参加者に見てもら いたかった風景である。残念なことに水位が下が り、砂浜が広がり、水鏡にはなっていなかった。



刈込湖

10時00分 刈込湖と切込湖の連結部分を過ぎ、いつもは繋がっている2つの湖は、分断されていた。切込湖もエメラルドグリーンの湖面を湛え、静謐な雰囲気に包まれていた。苔むした倒木、コメツガやシラビソの原生林に雑木林が混じり、タカネサクラ(山桜)がちょうど満開で、木々もやっと芽吹き始めた明るい山道である。

10時45分涸沼到着。昼食休憩。涸沼は、その名のとおり、水の無い沼で、周りを山に囲まれたすり鉢状の草原。クマザサに覆われ、背の低いカラマツの葉の緑が柔らかだった。今までの視界の遮られた山道から一転して、広々と気持ち良い。欲を言えば快晴の天気のため日陰が欲しかった。

11時20分 出発。1610mから1741mの山王峠 (本日の最高地点)まで、昼食の後の急登である。 11時50分 山王峠、サポート隊が待機し、水 分補給や体調不良者に備えてくれていた。山王峠か ら真正面に男体山を望み、太郎山の堂々とした山容 が目を引いた。

光徳牧場を目指し、ちょっと荒れた登山道を下る。途中男体山や山王帽子山、光徳の見え、林相が針葉樹からダケカンバやミズナラの広葉樹林に変わり、いよいよ目的地に近づく。

12時55分 光徳牧場到着。名物のアイスクリームを食べる。

13時07分 アストリアホテル到着。お弁当の空箱を回収し、到着順に解散。

[大使館別荘記念公園見学](上田:記)

9時30分 アストリアホテル出発

9時50分 歌ヶ浜駐車場に全員揃い、飯野先 生に挨拶、写真撮影。別荘地へ向かう。



歌ヶ浜駐車場

国際避暑地の歴史館を見て、杉の皮でできた市松 模様のイタリア大使館別荘地に入る。

11時30分 待望の英国大使館別荘。湖に映る 社山の美しいこと、しばらくじっとしていたいよう な風光明媚なところに感激した。

12時15分 解散



涸沼

公益事業:第8回日光光徳「親子登山教室」

美しく雄大な自然にふれながら、親子の絆を深め、他人との協働と日光山系(社山)登山による自然体験を通して、心身ともにたくましく自立する青少年の人格形成の一助とする。

【開催日】 令和元年7月13日(土)~14日(日) 1泊2日

【開催地】 栃木県日光市 学習院日光光徳小屋 及び 戦場ヶ原/社山(1826.6m)

【主 催】 日本山岳会栃木支部 【共 催】 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟

【後 援】 栃木県教育委員会・日光市教育委員会・学習院山桜会

仲畠 正子

◆ 7 月 1 3 日 (土) 曇

9:30~10:00 光徳駐車場にて受付

10:30~ 光徳小屋着/開会式 11:00~ 昼食, 荷物の整理

11:50~15:10 戦場ヶ原ハイキング

16:00~ 夕べの集い・夕食準備

17:50~ 夕食,後片付け並びに明日の朝食準備

19:30~20:10 講話(雨が降るしくみ等)

21:00 就寝

◆ 7 月 1 4 日 (日) 雨

4:30~ 起床, 朝食準備, 朝食, 部屋の清掃

6:30 光徳小屋発

7:55~ 半月山登山口

8:10~10:50 半月山登山~歌ヶ浜駐車場 (雨のため社山登山は中止、半月峠より下山)

10:55~11:00 閉会式, 解散

平成24年に開始された親子登山教室は、今年 度第8回を迎えた。今回は親子6組13名と、講師 2名、栃木支部スタッフ12名で実施した。

今年は梅雨が長引いており、本日も曇りから雨 の予報となっている。

9時30分から受付を開始、その後光徳小屋まで移動し開会式を行う。支部長の挨拶、日程説明、参加者自己紹介、そして管理人より山小屋使用上の諸注意をしていただく。最近ツキノワグマが出没しているそうで、木の樹皮をバリバリとかじった痕跡が残っていること、食べ物の後始末、集団行動の徹底等、充分気を付けるよう促された。



湯元駐車場へ移 動し、12時20 分ハイキングに 出発。湯ノ湖の間 畔を反時計局り で歩き、観瀑台へ 到着。写真を撮る た後、読図講習を

する。小学3年生は

地図と方位の勉強をしているということで、熱心に読図をしていた。

湯川沿いのハイキングコースはミズナラやウラジロモミ、カラマツなどの林で、木道歩きの快適なコースである。泉門池に14時到着。おやつの交換などして、皆すっかり仲良しになっていた。

少し戻り、北戦場ヶ原に入っていく。男体山、太郎山、山王帽子山が見晴らせた。湿原の乾燥化が進み、シラカバの木等の灌木が育っていく様子を確認しながら光徳入口に到着、光徳小屋に戻った。

タべのつどいで、参加者代表に、明日の登山の抱 負を述べていただき、夕食の準備に取りかかった。 小学生7名とスタッフ3名で、定番のビーフカレー とチキンカレー、シーチキンサラダ、コーンスープ を作る。スタッフはなるべく手出しをしないように して、裏方に徹すると、7名がチームワーク良く配 膳まで考えてやってくれた。

夕食後、19時30分からの星空観察会は、今年も残念ながら厚い雲に覆われて星座の観察ができなかった。富永講師より、夏の星座とお天気の話をしてもらう。雨が降るしくみと、梅雨についての講義を終え、21時全員就寝。

登山教室2日目、4時30分起床。朝から雨が降り、止む気配が無かった。本日の登山はコースを短縮して行う方針を立て、朝食を食べる。そのとき、森の奥にシカの親子が現れた。

登山の準備をし、小屋の清掃を済ませ、6時30 分に小屋を出発した。光徳駐車場から歌ヶ浜駐車場へ行き、さらに半月山駐車場へ移動する。半月山登山口で、本日の短縮コースを説明し、レインウェアーを着込み、準備体操をして、8時10分出発。半月山展望台、半月山山頂8時30分。この後は、社山には登らないで、半月峠より狸窪にショートカットするコースで下山する。



9時10分半月峠着。山頂よりこの間は、クマザサ、ミヤコザサの茂った尾根で、木の根が張った急坂では転倒してしまうが、けがは無かった。

10時5分、狸窪と呼ばれる中禅寺湖畔に下りると後は車道となる。英国大使館別荘、イタリア大使館別荘記念公園を経て、歌ヶ浜駐車場に戻る。

10時55分より歌ヶ浜遊覧船乗り場で閉会式を行う。修了証を授与、11時解散した。

公益事業:第13回「山」の講演会

演題:『アーネスト・サトウ父子の日光への山旅』

●日時:令和2(2020)年1月26日(日) 15:00~17:00

●会場:コンセーレ(栃木県青年会館)

●講師:飯野 達夫 氏(栃木県博物館協議会会長,栃木県歴史文化研究会会員)

●主 催:(公社) 日本山岳会栃木支部

共 催:(一財)栃木県青年会館 後 援:栃木県山岳・スポーツクライミング連盟

●参加者:84名 (内訳:栃木支部会員 14名, 一般参加 70名)

●講演概要 ~国際的避暑地の誕生と近代登山の幕開け~

中禅寺湖畔の英国大使館別荘を舞台に、アーネスト・サトウと次男 武田久吉の近代登山黎明期の日光の山旅について解説。

今回の講演は、どの位の人が集まってくれるか気にしていたが、全体では80名を超える盛会の講演会だった。飯野講師もこんなに多くの人が集まるとは思っていなかったとのこと。

そして多くの参加者に近代登山、国際的避暑地 発祥での日光が大きく関わっていたことを認識し ていただき、また地元の歴史を知る上でも良い機会 だったと思う。講演会の後は、飯野講師を囲んでの 懇親会が開かれ、講師への質問等おこない終了した。

講演は、初めに勝道上人による日光開山と日光修験道、三峰五禅頂の話から始まり、江戸末期、明治維新の頃の日光についての説明、英国公使サー・ハリー・スミス・パークス夫妻が日光を訪れたことにより、「聖地日光」から「国際的避暑地」としての評価に変わっていったとされた。その後、サトウが明治5年以日光を初めて訪問し、中禅寺湖南岸から望む奥白根山が故郷のスコットランドでの景色に似ていることで気に入り、山荘創建に至ったとした。

山荘について、間取りと建築様式等の特徴や日本近代建築の父といわれるジョサイヤ・コンドルのアドバイスがあったことも説明があり、当時の人と人との関係にも興味がわいた。また、イザベラバードが3回ほど山荘を訪問していたことの説明があった。イザベラバードも「日本奥地紀行」で日光の美しさを書いている。

サトウについては、「アーネスト・サトウの明治 日本山岳記」で、日光から金精峠、尾瀬を超えて新 潟までの山行が記録されているが、次男の武田久吉 の登山が日光から始まったことなども紹介(「明治 の山旅」)された。武田久吉は、女峰山、大真名子 山、男体山の日光三山掛けも行っており、これを契 機に植物学に関心を抱くようになり、尾瀬の自然保 護への大きな功績を残したとのことだった。

また、日本山岳会創設時には、烏山出身の志村烏嶺(寛)との交流などの説明もあった。

(仙石 富英 記)

支部山行・行事の記録

夏山山行・懇親会: 葛老山 & 奥鬼怒 加仁湯

金田 利夫

令和元年8月24日(土)~25日(日) 葛老山·奥鬼怒温泉郷 加仁湯宿泊

参加者:渡邉,前田Y,石澤,山本,金田,

上田, 仙石, 長, 菱田, 増渕, 藤田 8月24日(土) 道の駅湯西川集合 9:00 (前田Y, 山本を除く9名)

葛老山山行

9時10分、道の駅湯西川第3駐車場奥の登山 道入口を出発。開始からいきなり、階段状の急登 をしばらく歩く。登山道はよく整備されている。 次第に傾斜もゆるくなり体も慣れてくると送電鉄 塔の下に到着。途中、湯西川のキャラクター河童 を模した木彫りの「かっぱ七福神」が迎えてくれ る。休憩をとり、落葉樹の中の緩やかな登山道を 歩くとあずま屋に到着。さらになだらかな尾根を しばらく進み、ジグザグの急坂を上りつめると傾 斜もゆるくなり、まもなく寿老人河童の迎える葛 老山山頂に11時10分到着。



頂上で写真を撮り、昼食をとる。眺めをゆっくり堪能して12時下山開始。帰路は往路を途中休憩を取りながらゆっくり下る。13時15分、道の駅湯西川駐車場に到着。上田、仙石は山行終了後帰宅。

14時30分 女夫渕駐車場集合

15時30分 奥鬼怒温泉郷加仁湯到着 入浴後懇親会を開催

8月25日(日)

9時05分 加仁湯送迎バスで加仁湯を出発。 長は、鬼怒湿原散策

9時30分 女夫渕駐車場到着。解散。



秋山山行:

月山 & 鳥海山

増渕 仁一

令和元年8月24日(土)~25日(日)

山形県 月山(1984m) 姥沢コース

秋田県 鳥海山(2229m) 祓川コース

参加者:渡邉,前田Y,上田,仙石,增渕, 高野,鬼頭,藤田

8月24日(土)道の駅湯西川集合 9:00 10月4日(金)

宇都宮市大谷駐車場(04:00) 2台の車に分乗 し、東北道・山形道経由月山 I Cで降り、志津温 泉姥沢駐車場到着。悪天候であるが、リフトが動 いてる事を確認し、早速リフトに乗り終点の小屋 まで行く。

小屋(9:05)出発、2人は頂上、4人は牛首より 少し上がった稜線上で休憩する。午後から天候が 悪化するとのことで下山した。

姥沢駐車場(12:00)出発、猿倉温泉の鳥海荘 (18:00)に到着。仙石さん合流。夕食後翌日の打ち 合わせ、就寝。

10月5日(土)

起床(4:30) 鳥海荘(6:00) 出発、祓川駐車場到着。駐車場出発(6:30) 天候は雨、本日の行動・下山時間を確認後登山開始する。七ツ釜避難小屋(8:00) に到着。4人は避難小屋までで下山、4人は頂上に向かい3人が頂上まで行き、1人は9合目までで下山した。

午後5時から約1時間、講師荘司昭夫氏及び戸田氏から鳥海山に関する講演会が有りました。内容は、パワーポイントを用いて「鳥海山の四季・周辺に咲く草花」などを映像と解説で紹介し、鳥

海山の魅力を堪能することが出来たひと時であった。

夕食を取りながら鳥海山、その他会話が弾み楽 しい時を過ごした。

[感想] 天候は台風 18 号から熱帯低気圧になったが、勢力は台風の勢力のままで日本海を通過したので、天候には恵まれなかったが、登山を楽しみ、宿泊先で会話が弾み有意義な 山行が出来ました。

山岳環境保全事業:

日光清掃登山

令和元年7月7日(日) 栃木県山岳・SC連盟と共催

社山他 支部関係者7名参加

山岳環境保全事業: 那須クリーンキャンペーン

令和元年9月1日(日) 栃木県山岳・SC連盟,栃木県勤労者山岳連盟と 共催

那須岳朝日岳~清水平 支部会員5名参加

《栃木支部ホームページ》活用ください

URL: http://jac.or.jp/tcg/index.html 日本山岳会会員外も閲覧できるHPです。 支部活動の案内と報告を掲示します。

※「支部会員ページ」と「支部アーカイブ」は 支部会員限定ページです。"ユーザー名"と "パスワード"が必要となります。

北関東ブロック (茨城・群馬・栃木・千葉) 四支部合同懇談会 (茨城支部主管) : 宝篋山とつくば小田の郷

期 日:令和2年2月15日(土)~16日(日) 場 所(宿泊):つくば市 ホテルグランド東雲

参加者:茨城支部 浅野支部長 以下19名

群馬支部 北原支部長 以下 6名

千葉支部 松田支部長 以下10名

栃木支部 渡邉支部長 以下 8名

栃木支部参加者:渡邉,坂口,前田Y,前田F, 石澤,上田,大島,藤田

【2月15日(土)】 曇

- 開会式, 各支部活動報告 14時~
- 講演会
 - 1.「霞ケ浦と筑波山の環境問題に取り組んで」 茨城支部支部友 奥井 登美子 氏
 - 2. 「赤道直下の氷河の山
 - -日本・エクアドル友好合同登山隊2019」 栃木支部長 渡邉 雄二 氏
- 夕食・懇親会 18時~

【2月16日(日)】 曇・雨 山行と観光 「Aコース] 宝篋山登山

栃木支部参加者:渡邉,石澤,大島 残念ながら雨天になってしまいましたが予定通り 実施し、正午過ぎに無事に下山しました。(渡邉)

[Bコース] 小田城址, 平沢官衙遺跡見学

栃木支部参加者:坂口,前田Y,上田,藤田 小田城趾:鎌倉から戦国時代に常陸国に勢力を持 った小田氏の居城跡。

平沢官衛遺跡:奈良・平安時代の役所跡。

(前田F記)

日本・エクアドル外交関係樹立 100 周年記念友好合同登山隊

期間:2019年9月1日(日)~9月14日(土)

日本とエクアドルは2018年に外交関係樹立100周年を迎えた。渡邉支部長がプロジェクトリーダーとしてエクアドル山岳連盟と日本山岳会の友好合同登山として推進し、全国から大学生2名を含む14名の会員がエクアドルを訪れた。

エクアドル側隊員の家にホームステイしながら、Ruco Pichincha 山(4696m), Cotopaxi 山(5897m), Ruminahui 山(4700m), Chimborozo山(6310m)に登った。

エクアドルから2020年に訪日し、富士山など登る予定だったが、 新型コロナ対応で延期。



コトパクシ山を登る

(前田F 記)

YOUTH 栃木:登山技術勉強会

「山岳ファーストエイド&セルフレスキュー」

今年度のユース栃木主催「山岳ファーストエイド&セルフレスキュー講習会・勉強会」は、3年前の那須 の雪崩事故を契機に一昨年度の「雪崩勉強会」と前年度の「読図とナビゲーション講習会・勉強会」に続く 3年目の事業となった。

昨年度と同じく未組織登山愛好者/初心者を含めた一般を対象とした机上「講習会」と、ある程度の「応 急手当・救助」のスキルを持つ人を対象に机上講習と実技演習をセットで2日間行う「勉強会」の2つのコ ースを企画し参加者を募集した。1日のみの「講習会」は、20~80歳代の一般登山愛好者を中心に64 名が参加した。県警や消防、また県山岳遭難防止対策協議会事務局の県庁職員が参加してくれたことは嬉し い事であった。知識と技術のスキルアップを目的とした「勉強会」には、県山岳連盟の指導委員長や山岳救 助隊関係者など12名が参加した。

3年間続けた勉強会はそれぞれのテーマに沿った内容だが、山を登るために求められる"観察"・

"考察"・"行動"と言うプロセスを3つの例題のなかで示したと考えている。参加者が「山に潜むハザード を評価し、そこにどのように臨むか考え、その為に必要な技術・装備を身につけ行動する」を理解し自分の 行動に結びつけて、山登りを安全に楽しむことを期待していきたい。

前田 文彦

期 日:令和元年11月23日(土)~24日(日)

主 催:日本山岳会 栃木支部 ユース栃木

後 援:栃木県青年会館 / 栃木県山岳・SC連盟 受付・講義会場:コンセーレ(栃木県青年会館) 実技講習会場:古賀志山周辺(宇都宮市森林公園)

講 師:

主任講師 救急科専門医 伊藤 岳 氏 (兵庫県加古川医療センター, 日本山岳ガイド協会FA研修委員長) 主任講師 IFMGA 国際山岳ガイド 長岡 健一 氏

(Alpine Guide Office Nagaoka, 国立登山研修所専門調査委員)

参加者:講習会 53名,勉強会 12名

■ 11月23日(土):講習会・勉強会 宇都宮市 コンセーレ 雨

12:00~ 受付 / 12:45 開講 13:00~16:30 机上講習

伊藤講師の"登山における「ファーストエイド」 に何が求められるか"

その場にいた人の適切な処置

→ 救助隊につなげる

怪我や病気の知識×危険なサインの認識

→ 早期の救助要請

を主題に、「傷病者の診方と考え方」・「外傷の評価と 応急処置」・「命に関わる環境傷害:低体温症凍傷」・ 「実際に救護活動で考えること」を副題として、傷 病者の評価~判断に基づく対処や処置について「評

価の方法や手 順」・「病気や 怪我に対する 一般的な知 識 | • 「基本的 な処置の手 法」を具体的 に講義を行っ た。



■ 11月24日(日):勉強会

宇都宮市森林公園(古賀志山) 7:45~ 森林公園駐車場集合・開講

8:00~ 実技演習 (キャンプ場・管理センター)

13:00 閉講・解散

実技は、「セルフレスキュー として長岡講師に

より傷病者の搬送(松葉 杖作成, ザックに座を設 けた背負い, ザック3個 を活用した簡易担架)手 法の講習と演習を屋外で 行った。



また伊藤講師により「ファーストエイド」とし 救助者に傷病事例を伏せて、傷病者役に対する 「観察・判断・処置」のシナリオトレーニングを行 った (雨天のため室内で実施)。

【講習会・勉強会 まとめ】

今回の勉強会のテーマは、「あなたは山で、怪我 をした人・調子が悪そうな人、そんな状況に遭遇し た時、どう対応しますか?」とした。

医療従事者でない私達一般登山者が、そのような 場に遭遇すると、「もし間違ったことをすると、事態 を悪化させてしまうのでは…?」と考えることは常 につきまとう。

「うろたえることなく、自分を守り、山仲間にた いして何かおこなうため」に知っておく方が望まし いこととして

- ・評価の方法や手順
- ・病気や怪我に関する一般的な知識
- ・基本的な処置の手法

を学んだ。実際にシナリオトレーニングを行ってみ ると学ぶところが多くあり、各人のスキル向上につ なげることができたと思っている。

参加者の『いつ遭遇するかわからない現場でも落ち 着いた行動ができるよう繰り返し復習し、またこのよ うな講習会に参加していきたいと感じています。』の 認識が、この講習会・勉強会の価値ある結果を示して いると思っている。

支部・マスターズ・ユース栃木 年度記録

2019年度支部通常総会

期日 令和元年5月19日 会場 コンセーレ (栃木県青年会館) 参加者 会員21名

支部長挨拶(要旨) 支部長 渡邉雄二

栃木支部が設立されて13回目の通常総会になります。まずは、大きな行事である5月25日~26日に実施される栃木支部主催の第35回全国支部懇談会の準備では今まで大変お世話になりました。160名ほどの参加者を迎えることができたのも、足掛け2年間、事務局を中心に会員の皆様のご協力の賜物であると感謝申し上げます。

昨年は、新会員が3名おりましたが、高齢での 退会者もあり、会員は現在49名です。群馬支部等 他県の会員は増えています。昨年度の事業の中で、 「山の日」関連イベント親子登山教室等の公益事業 はたいへん充実していましたが、本来、我々自らが 山岳ライフを楽しめるはずの共益事業が低迷して いるのは残念です。これからは、栃木支部でも共益 事業をアピールし、ぜひ会員を増やしたい。

まずは、来週行われる全国支部懇談会を成功裏にして、全国の山仲間たちから栃木良かったなと言ってもらいたい。そして、今年度一年間よろしくお願いします。

《2019年度 ユース栃木 山行報告》

ユース栃木として二事業を実施した。

① 平成31年4月6~7日谷川岳虹芝寮スプリングミーティング 栃木支部,群馬支部,千葉支部,東海支部, 成蹊踏高会など12名参加。 (栃木支部報第12号で報告)

② 令和元年11月23~24日

山岳ファーストエイド&セルフレスキュー勉強会 コンセーレ (座学), 古賀志山 (実技)で開催。 栃木・群馬支部や県山岳連盟所属山岳会の他 一般含め65名参加 支部長より総会での議案のご審議よろしくお願いします。との挨拶があり、第1~6号議案すべて審議・承認され、閉会した。

2019年度実施支部行事一覧

	事業	期日	場所	内容
共益事業	ユース栃木 虹芝寮スプリングミーティング	4月 6~7日	成蹊学園虹芝寮・一ノ倉岳	登山と懇親
共益事業	支部通常総会	5月19日	コンセーレ	総会
共益事業	栃木支部報発行		_	支部報発行 (第12号)
共益事業	第35回全国支部懇談会	5月 25~26日	奥日光光徳 · 切込湖刈込湖他	登山と懇親
公益事業	「山の日」協議会イベント 活動の紹介パネル展示 (広報活動) (主催:栃木県「山の日」協議会)	6月 17~28日	栃木県庁15階	「山の日」に関わる 活動の紹介
公益事業	日光清掃登山 (栃木県山岳・S C連盟との共催)	7月7日 (前夜祭6日)	奥日光社山	奥日光周辺の清掃
公益事業	栃木県「山の日」関連イベント 光徳親子登山教室 (栃木県山岳・S C連盟/栃木県勤労 者山岳連盟との共催)	7月 14~15日	学習院光徳小屋 ・社山周辺 (半月山)	奥日光での キャンプと登山活動
共益事業	夏山山行・加仁湯懇親会	8月 24~25日	葛老山 · 奥鬼怒加仁湯	登山と懇親会
公益事業	那須岳クリーンキャンペーン&清掃登山 (栃木県山岳・SC連盟との共催)	9月1日	那須朝日岳	那須岳周辺の清掃
共益事業	秋山山行	10月 4~6日	月山・鳥海山	登山と懇親
公益事業	栃木県「山の日」関連イベント ユース栃木「山岳ファーストエイド& セルフレスキュー」勉強会 (特別事業補助金事業)	11月 23~24日	コンセーレ ・古賀志山周辺	登山に関する 知識と技能の習得
公益事業	海外登山の集い (栃木県山岳・SC連盟との共催)	12月21日	宇都宮市民文化 会館	海外登山に関する 講演会
公益事業	栃木県「山の日」関連イベント 「山」の講演会 (コンセーレとの共催)	2019年 1月26日	コンセーレ	登山の文化や 環境保全の講演会
共益事業	北関東プロック四支部合同懇談会 (茨城支部主管)	2月 15~16日	つくば市周辺	四支部 (栃木・茨城 ・千葉・群馬) 懇談 会と登山

他、役員会を5回開催(5月,7月,8月,11月,1月)。

《2019年度 マスターズクラブ 山行報告》

マスターズクラブでは、栃木百名山の山行を継続 して行った。

平成31年

4月	古賀志山	7名参加
令和元年	年	
6月	白笹山	4名参加
10月	姥が平の紅葉を見る	3名参加
11月	諏訪山~唐沢神社	6名参加
12月	大小山	5名参加
令和24	年	
1月	足利天狗山	7名参加

支部 年度計画

2020年度支部行事(案)一覧

事業		期日	場所
共益事業 [中止]	支部春山山行	4月26日	高鈴山·御岩神社
共益事業	支部通常総会	5月23日	書面郵送にて実施
共益事業	栃木支部報第13号発行	5月23日	-
公益事業	日光清掃登山 (栃木県山岳・スポーツクライミング連盟との共催)	[未定]	奥日光周辺
公益事業 [中止]	栃木県「山の日」関連イベント(申請予定) 光徳親子登山教室 (栃木県山岳・スポーツクライミング連盟との共催)	7月18~19日	学習院光徳小屋 ・社山
共益事業 [中止]	支部夏山山行・加仁湯懇親会	8月22~23日	奥鬼怒温泉 加仁湯及び周辺
公益事業	那須岳クリーンキャンペーン&清掃登山 (栃木県山岳・スポーツクライミング連盟との共催)	9月6日	那須岳周辺
共益事業	支部秋山山行	[未定]	[未定]
公益事業	栃木県「山の日」関連イベント (申請予定) 「山」の講演会 (コンセーレとの共催)	[未定]	コンセーレ
公益事業	海外登山の集い (栃木県山岳・スポーツクライミング連盟との共催)	[未定]	[未定]
共益事業	支部冬山山行	[未定]	[未定]
共益事業	北関東ブロック四支部合同懇談会 (群馬支部主管)	2020年 4月17日~18日	榛名湖温泉 •榛名山



親子登山教室 学習院光徳小屋周りのシカ

《事業委員会》

※新型コロナ対応で、計画されていた「春山山 行」・「光徳親子登山教室」・「夏山山行・加仁湯 懇親会」が5月の時点で残念ながら中止となっ た。

※今年度の実施予定事業

- ・「山」の講演会 (コンセーレとの共催):登山の 文化や環境保全の講演会
- ・「海外登山の集い」(栃木県山岳・SC連盟との 共催):海外登山に関する講演会
- ・秋山山行/冬山山行:登山と支部会員懇親会

《自然保護委員会》

・「日光清掃登山」(奥日光周辺の清掃・中止決定))と「那須クリーンキャンペーン&清掃登山」(那須岳周辺の清掃)を自然保護委員会(栃木県山岳・SC連盟との共催)で継続実施する。

☆☆あとがき☆☆

- 2020年は COVID-19(新型コロナ)で始まった。 対応施策が行われているが、終息までにはまだ時間がかかると思われます。日々の生活に影響が出ていますが、上手く対応してお過ごしください。
- 毎年行ってきた「虹芝寮スプリングミーティング」は、今年から支部の行事では無く、有志による山行とした。成蹊踏高会・群馬支部・本部ユースクラブメンバーなど18名が集まる予定だったが、新型コロナ対応で中止になった。また来年開催し集まることを期待したい。

《支部会員 Archives》



1983年デリーでのインド登山財団25周年記念式典にて、日本山岳会集会委員会メンバーと植村直己さん、高本信子さんと。登山隊では皆様に色々とお世話になりました。 (前田文彦)

栃木支部報 第13号 令和2年(2020年)5月23日発行

発行者 栃木支部長 渡邉 雄二

編集人 前田 文彦

(公益社団法人)日本山岳会 栃木支部 〒329-0434栃木県下野市祇園5-12-10前田方

発行所